

上場会社名 藤森工業株式会社
 コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(氏名) 布山 英士
 (氏名) 吉野 彰志郎
 配当支払開始予定日

TEL 03-6381-4211
 平成26年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	46,288	5.7	4,147	11.5	4,548	17.6	2,999	23.2
26年3月期第2四半期	43,786	3.7	3,719	24.1	3,868	28.2	2,433	8.9

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 2,755百万円 (△3.1%) 26年3月期第2四半期 2,844百万円 (26.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	156.54	155.66
26年3月期第2四半期	127.01	126.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	82,516	47,383	56.4	2,429.81
26年3月期	77,080	45,464	57.8	2,325.68

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 46,561百万円 26年3月期 44,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	23.00	—	33.00	56.00
27年3月期	—	28.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期の期末配当金33円は、創立100周年記念配当金10円を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,300	6.7	8,300	11.0	8,550	6.0	5,350	7.7	279.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ZACROS AMERICA,Inc. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	19,267,760 株	26年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	105,120 株	26年3月期	105,070 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	19,162,678 株	26年3月期2Q	19,162,776 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、一部に弱さがみられるものの、米国景気が堅調に推移するなど、全体としては緩やかに回復する展開が続きました。国内経済においては、政府の経済政策の効果などを背景に企業収益や雇用環境に改善がみられたものの、消費税率引き上げにより個人消費が力強さに欠け、急激な為替相場の変動による企業収益への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、ライフサイエンス事業の受注が堅調に推移したことに加え、情報電子事業、建築資材事業で大きく受注を伸ばしたことにより、当社グループの売上は前年同期比で増加いたしました。

損益面では、新工場建設中の台湾連結子会社において固定費が先行していることや、米国の事業譲受けに係るコンサルタントフィーなどスポット的な費用増加の影響があったものの、情報記録用材を中心とした情報電子事業の増益、並びにタイの連結子会社での大幅な収益改善など、グループ全体にわたり高付加価値製品の販売強化と生産効率の向上に努めたことにより、前年同期比で増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高462億88百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益41億47百万円（前年同期比11.5%増）、経常利益45億48百万円（前年同期比17.6%増）、四半期純利益29億99百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材は受注が伸び悩む展開となりましたが、医薬・医療用包装材においてはジェネリック向けを中心に受注を確保し、売上増加となりました。また、生活用包装材の詰替用スタンディングパウチにおいては、タイの連結子会社において現地生産を本格化したことなどにより売上は堅調に推移しました。さらに事業譲受けに伴い米国連結子会社の売上を取り込んだことなどから、事業全体で前年同期を上回る売上を確保することができました。

この結果、売上高は213億40百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、前年同期に大きく伸長した「モバイル端末」向けの工程用部材は受注が低調に推移しましたが、偏光板パネルサイズの拡大の影響や新興国の需要が旺盛だったことから主力の偏光板向けの受注は堅調に推移し、全体としては微増に留まりました。情報記録用材は、「パソコン」向けの受注増に加え「モバイル端末」向けが大きく売上を伸ばしました。剥離フィルムについては、末端製品のモデルチェンジの商機を捉え、受注を確保したことから売上は増加しました。

この結果、売上高は190億円（前年同期比5.1%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、住宅向けを中心に、空調用配管並びに集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上が好調に推移したことに加え、煙突工事の売上も増加いたしました。また、土木関連においても、売上が前年を上回る展開となりました。

この結果、売上高は59億47百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が減少したものの、売上債権、有価証券、棚卸資産の増加に加え、事業譲受けに伴い無形固定資産が増加したことなどにより、前年度末に対して54億36百万円増加の825億16百万円となりました。

負債については、長期借入金、未払法人税等が減少する一方、仕入債務や未払金が増加したことなどにより、前年度末に対して35億16百万円増加の351億33百万円となりました。

純資産は、少数株主持分6億66百万円を含めて473億83百万円となり、自己資本比率は56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

非連結子会社であったZACROS AMERICA, Inc. は米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。また、当該子会社は当第2四半期連結会計期間に増資を実施した結果、新たに特定子会社に該当する事となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億85百万円増加し、利益剰余金が1億19百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,975	4,914
受取手形及び売掛金	26,660	30,210
有価証券	2,599	4,200
商品及び製品	2,390	3,299
仕掛品	1,212	1,216
原材料及び貯蔵品	1,630	1,861
繰延税金資産	773	780
その他	812	831
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,050	47,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,238	31,323
減価償却累計額	△16,963	△17,561
建物及び構築物 (純額)	14,274	13,761
機械装置及び運搬具	44,304	45,726
減価償却累計額	△36,134	△38,119
機械装置及び運搬具 (純額)	8,170	7,606
工具、器具及び備品	4,685	4,936
減価償却累計額	△4,137	△4,309
工具、器具及び備品 (純額)	548	626
土地	5,391	5,384
建設仮勘定	323	1,810
その他	18	18
減価償却累計額	△13	△14
その他 (純額)	5	3
有形固定資産合計	28,713	29,194
無形固定資産		
のれん	—	517
その他	220	764
無形固定資産合計	220	1,281
投資その他の資産		
投資有価証券	3,018	3,660
繰延税金資産	461	475
その他	658	637
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	4,095	4,731
固定資産合計	33,029	35,206
資産合計	77,080	82,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,074	20,976
短期借入金	855	856
未払金	1,918	2,382
未払法人税等	1,846	1,652
賞与引当金	1,324	1,398
役員賞与引当金	106	61
その他	1,023	1,546
流動負債合計	25,149	28,874
固定負債		
長期借入金	1,359	932
繰延税金負債	538	537
退職給付に係る負債	3,278	3,533
役員退職慰労引当金	479	487
その他	810	767
固定負債合計	6,466	6,258
負債合計	31,616	35,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	7,654
利益剰余金	29,380	31,634
自己株式	△109	△109
株主資本合計	43,525	45,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	926
為替換算調整勘定	353	△40
退職給付に係る調整累計額	△116	△104
その他の包括利益累計額合計	1,040	781
新株予約権	130	155
少数株主持分	767	666
純資産合計	45,464	47,383
負債純資産合計	77,080	82,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	43,786	46,288
売上原価	34,386	36,016
売上総利益	9,399	10,272
販売費及び一般管理費	5,679	6,124
営業利益	3,719	4,147
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	47	77
受取保険金及び配当金	7	87
為替差益	40	181
その他	88	85
営業外収益合計	188	434
営業外費用		
支払利息	13	9
売上割引	15	17
その他	11	6
営業外費用合計	40	33
経常利益	3,868	4,548
特別利益		
受取保険金	73	—
負ののれん発生益	—	88
特別利益合計	73	88
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	9	7
特別損失合計	9	8
税金等調整前四半期純利益	3,932	4,628
法人税、住民税及び事業税	1,454	1,624
法人税等調整額	22	△31
法人税等合計	1,476	1,592
少数株主損益調整前四半期純利益	2,455	3,036
少数株主利益	21	36
四半期純利益	2,433	2,999

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,455	3,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	125
為替換算調整勘定	274	△419
退職給付に係る調整額	—	12
その他の包括利益合計	388	△280
四半期包括利益	2,844	2,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,805	2,741
少数株主に係る四半期包括利益	38	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,932	4,628
減価償却費	2,077	1,911
のれん償却額	—	4
負ののれん発生益	—	△88
株式報酬費用	20	24
受取利息及び受取配当金	△52	△79
支払利息	13	9
有形固定資産除売却損益 (△は益)	9	8
受取保険金	△73	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△26	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	88
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45	72
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49	△45
売上債権の増減額 (△は増加)	264	△2,994
たな卸資産の増減額 (△は増加)	212	△651
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,196	2,188
その他	△1,002	541
小計	3,175	5,624
利息及び配当金の受取額	52	79
保険金の受取額	73	—
利息の支払額	△12	△9
法人税等の支払額	△1,610	△1,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,677	3,877
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,198	△1,613
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△38	△16
投資有価証券の取得による支出	△12	△462
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	2
長期貸付けによる支出	△1	△0
長期貸付金の回収による収入	1	6
事業譲受による支出	—	△2,063
その他	△15	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,263	△4,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	0
長期借入金の返済による支出	△356	△428
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△440	△632
少数株主への配当金の支払額	△7	△11
少数株主への払戻による支出	—	△15
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△806	△1,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	△122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,317	△1,483
現金及び現金同等物の期首残高	8,295	10,504
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,978	9,044

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,786	18,070	4,929	43,786	—	43,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122	298	65	486	△486	—
計	20,908	18,369	4,994	44,272	△486	43,786
セグメント利益	832	2,742	144	3,719	—	3,719

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,340	19,000	5,947	46,288	—	46,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	313	42	497	△497	—
計	21,480	19,314	5,990	46,785	△497	46,288
セグメント利益	1,129	2,839	178	4,147	—	4,147

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、当社米国子会社であるZACROS AMERICA, Inc. が米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては5億23百万円でありませ